

## 第23回「2017京都てんとう虫マラソン大会」

### 参加者の「声」 アンケートより

(アンケート回収 18枚 男性11枚 女性7枚)

#### 初めて参加の人から

- \* 洛南タイムスで知った。趣旨に賛同し、開催場所に行きやすかったので参加。全体の感想としては、太鼓の雰囲気がよく、アナウンスが元気よくて大変良かった。我が子がインタビューされて嬉しかった。6才・4才の我が子が、障がいのある人と一緒に走る事で、いろんな人がいるという勉強になったのでは…と思う。コースは良かったが、スタート地点の看板の表示が、走るコースがどちらなのか紛らわしかった(「黒コースです」という表示がほしかった)。イベント、大変良かった。最初のが華やかだった。スタッフは親近感があって、コースに沢山いてくれて安心した。メダルは、持ってみたら思ったよりしっかりしててビックリした。参加賞の中にはたくさん入っていてうれしかった。今回私(母)は、走らなかった。子を離して親子ともに成長しようと思ったからです。子供たちが初めて走り切って、親子とも成長できたと思っています。来年も参加すると思う。 30代女性・子供2周
- \* チラシで知った。趣旨に賛同し、会場にも行きやすく、自分に合った種目があり、幼児が参加できるので申し込んだ。スタッフやランナーが応援して下さり、頑張れた。普段、障がいのある人がいても、見て見ぬふりをしてしまう。しかし今日は障がいの有無に関係なくみんな必要とされるべき(されている)一人ひとりだと感じた。いつも時間を気にして急ぐことが多いが、これからはゆったりとした気持ちでたくさんの人と心を通わせていきたい。コースは、ゴールと周回コースとの分かれ目がわかりづらかった。受付後、参加賞の袋の中を見るための場所(ブルーシート)があったらよかった。せっかくの参加賞を、見るために地面に置くには申し訳なかった。イベント大変良かった。暑い中、踊りや演奏を見られて、元気をもらった。スタッフは、年配の方が多く、おじいちゃんおばあちゃんに見守って貰えているみたいで、安心でした。小学生の応援も嬉しかった。メダルも記念品もてんとう虫がとてもかわいらしい。お玉立て欲しかったので使わせてもらいます。この大会は、思いやりの気持ちがいっぱい、タイムを競っているランナーさんに私たちが迷惑にならなくてすむから来年も参加したい。スタッフの皆さんが笑顔で、安心して走る事が出来ました。ありがとうございました。娘が最年少ランナーということでお手紙を頂きました。読んだ瞬間嬉しくて涙が出そうでした。「私達はここに存在してもいいんだ」と幸せな気持ちになりました。こんなに大切にもらったことはありません。今後、まわりで困っていそうな人がいたら勇気を出して声をかけてみようと思います。参加賞がこんなに豪華な大会は初めてです。スタッフの皆さま、準備、片付けおつかれさまでした。(FAXで回答)30代女性・2周
- \* 友人に誘われ、趣旨に賛同し自分に合った種目があったので参加。この大会に参加して大変良かった。障がいのある人と一緒にできることが、もっともっと増えていくといいなあ。コースは大変良かった。イベントも小さい子がかわいかった。メダルや参加賞は、手作り感があってよかった。とても雰囲気が良かったので、来年も参加すると思う。 50代女性・2周
- \* 大会趣旨に賛同し、今回は視覚障がいの方の伴走で参加しました。コースも良く、タイムにとらわれず、一人ひとりのペースでがんばれることが良かった。参加賞の記念品は、はかわいらしくて記念になる。来年も参加すると思う。視覚障がいの男の子の伴走で参加しましたが、男の子のトイレや着替えなど、スタッフの方が快く引き受けて下さり有り難かったです。 50代女性・4周
- \* 友人に誘われ、自分に合った種目があったので参加。気持ちよく走れた。障がいのある人の頑張っている姿に勇気づけられた。参加賞かわいかった。来年も参加したい。体験コーナーには参加しなかった。イベント大変良かった。スタッフの対応も大変良かった。参加賞は、至れり尽くせりで有り難かった。ゆったりと走れるので、来年も参加すると思う。 60代男性・2周

## 2回目参加の人から

- \* 案内が来た。趣旨に賛同。会場も行きやすいし自分に合った種目があり参加。スタッフの皆さんありがとうございました。障がいのある人が楽しそうにされていて良かった。身近に接すると障がい者への理解が深まると思う。コースは少しアップダウンがあり、刺激になる。イベントは楽しめて大変良かった。スタッフには大変お世話になりました。ご苦労様でした。記念品は、良くできていて、皆さんの温かみが感じられた。走ることに以外にも楽しめたので、来年も参加すると思う。地元の城陽市からの参加者が少ないように思う。地元紙（洛南タイムス・城南新報）に取り上げてもらうと、参加者が増えると思います。後援している市町の広報誌に載せてもらっても効果的と考えます。参加費は3000円でいいのではないですか。（チャリティーだし、参加賞もたくさんあります） 60代男性・8周

## 3～5回参加の人から

- \* 自分に合った種目があったので参加。この大会は「楽しんで走ろう」という目標が良いと思う。障がいのある人皆さんがそれぞれ頑張っておられ、私もまた走ろう、また明日からがんばろうと思えた。コースは1周が長くなく、先が見えるのががんばれる。体験コーナーは車イスに参加して良かった。イベントで「手話で歌おう」が良かったです。記念品はいつも楽しみにしています。早速お玉立て使いました。てんとう虫が可愛いので好きです。いつか5kmに子供と一緒に挑戦したいから、来年も参加する。今回もみんな楽しそうで、私たちも楽しく過ごさせて頂き、とても良い大会だと思いました。今年も家族3人で出場できたことがよかった。誰でも出場できるこのマラソン大会続けてほしいです。Tシャツ購入しました。来年はこのTシャツを着て出たいです。てんとう虫マラソン大好きです。ほんとにありがとうございます。(FAXで回答)40代女性・2周
- \* 趣旨に賛同し参加。いつも応援して頂き、楽しめて大変良かった。障がいのある人と走って、私もがんばらねば…と思った。コースは、足元が整備されており安全に走れた。イベント大変良かった。スタッフの皆さん、笑顔で親切です。記念品は、毎年楽しみにしています。今回のもとても可愛くて嬉しいです。この大会を知ってから毎年来ていて、季節のイベントになっている。毎年、心が洗われるように感じています。とても素晴らしい大会です。 40代女性・4周
- \* 案内が来て趣旨に賛同し参加しました。景色が良い所で、応援してもらいながら気持ちよく走れました。障がいのある人と一緒に同じところで走って、同じように励まされて楽しい気持ちになりました。コースは、前は雨上がりでぬかるんでいたが今年は良かったです。イベントは、皆さんたくさん練習してこられたのだと思います。励まされました。スタッフは、ゴムが足りない時も丁寧に対応してくれました。記念品、いつも楽しみにしています。とても嬉しいです。一体感を感じたいのと、自分の体力の確認のために来年も参加すると思う。いつかはスタッフとして関わってみたいです。ゼッケン引き換えハガキは、もう少し早く届く方が安心です。 50代女性・？周
- \* 案内が来て趣旨に賛同し参加。大会全体の印象も、コースの設定も、イベントも、スタッフの対応も大変良かった。記念品は、毎年これが嬉しくてうれしくて。来年も参加します。 50代男性・8周
- \* 宝ヶ池での開催の時からお世話になっています。趣旨に賛同、会場に行きやすいし、自分に合った種目があるので参加。コースは大変良いが、わずかな高低差がしんどい。イベント良かった。スタッフの皆様、毎年有り難うございます。参加賞は、毎年楽しみにしています。来年も参加したい。 60代男性・8周
- \* 大会全体は、良かった。来年も参加すると思う。ラッキー賞は、花ではなく石鹸や日用品にしてほしい。 70代男性・8周

## 6回～10回の参加の人から

- \* 案内が来た。毎年参加したいから今年も参加。今年はとても暑かった！ イベントもスタッフの対応も大変良かった。参加賞は、毎年袋の中を見るのが楽しみで、メダルも思い出になります。来年も参加します。 20代男性・2周
- \* 案内が来て自分に合った種目があったので参加。大会全体は良かったが、コースは、暑い日で日差しがきつく、日陰がなくきつかった。この会場は、交通の便があまり良くないというか、宝ヶ池公園の方が行きやすく、ここは遠いので来年は参加を考えます。以前に比べて参加人数が少なくなったようで…、いろんな意味で残念です。 20代男性・4周

\* 案内が来て、趣旨に賛同して参加。 大会全体の感想は、以前に比べて参加者が減っているが、続けられているのが良い。この大会は、障がいのある人もない人も一緒に同じ目標を持って走る事に意味がある。 コースは良かったが、日陰がないのがつらい。 イベントは、一生懸命されていて良かった。 スタッフの対応、良かった。 記念品は、毎回違うのが楽しみです。 障がいのあるなしに関係なく参加できるので、来年も参加すると思う。もっと機会を設けてほしい。

30代男性・4周

\* 友人に誘われ、趣旨に賛同、会場に行きやすくて参加。天候が良く、朝日を浴びて気持ち良かった。 障がいのある人と一緒に走ってみて、明日は我が身かも…と思った。 コースは良かったが、同じ周回を走るのはつらいものがあり、コースに工夫がほしい。 体験コーナーには参加しなかった。 イベント、スタッフの対応は良かった。 オリジナルの記念品、今回は良かった。 来年も参加予定。 この大会に参加するみんなが、楽しみ、気付きあい、協力しあうことを目指しているというのは、尊敬します。

60代男性・？周

\* 案内が来て、趣旨に賛同して参加。スタッフ、参加者ともに「えがお」で大変良かった。障がいのある人の一生懸命さに感動。 コース、大変良かった。車いす体験に参加し、普段と違う動きを経験出来て大変良かった。 イベントもスタッフの対応も大変良かった。 参加賞は、良いじゃないですか。 来年も参加すると思う。

70代男性・4周

## 16回～20回の参加の人から

\* 案内が来た。趣旨に賛同、自分に合った種目があったので参加。 大会全体の感想は、大変良かった。運営がすばらしい。スタッフの力かな？ 障がいのある人と一緒に走って、毎回元気を頂きます。 イベントはみんな大変良かった。スタッフの対応も大変良く、駅や道に居てくれて助かりました。 参加賞は、毎回楽しみです。袋も使わせてもらいます。陶器は家に飾ったり使ったりして、だいふ増えました。 この大会をいつも楽しんでいます。楽しみにしています。来年も参加します。 今年は天気が良くてよかったです。 スタッフの皆さんに感謝しています。

60代男性・8周

長池駅につくと、「この車に乗って行かれませんか」本日（九月二十四日）参加の大会は「障がい者も健常者もともに走ろう 京都でんとう虫マラソン」障がい者の参加があるので大会本部の車で送迎するのは理解できる。「私、健常者ですがよろしいですか？」席が空いているから大丈夫です」前の席に座ると後部にはストレッチャーに乗ったままの障がい者。へーこの人も参加するのだ。どんな形で参加かな。

会場木津川運動公園へは受付開始時間より早く到着する。胃を全摘している私は恒例だが、待ち時間を利用してゆっくり食事。「えっ！」妻が買ってくれたおはぎ、四つ入っているとばかり思っていたが、二つだけ。うーん、足りるかどうかがギリギリ。もし食料が足らなくてエネルギー切れになったらどうしよう。「あっそうだ」この大会の参加賞袋の中にはパンやバナナが入っているとはず。助かった。

「大会Tシャツを百枚限定で販売しています。売り上げの一部は障がい者施設に寄付をします。この機会にお求めください」とアナウンス。早速購入。Tシャツを着てジョグすることで多くの人に「てんとう虫マラソン」を知ってもらいたい。話題にしてほしい。ただ、欲を言えばてんとう虫の図柄がもう少し大きかったらなお良いと思う。

開会式は順調に行われ、いよいよ競技開始。まずは二周（2.5キロ）コース。子どもが多いが、車いすや視覚障がい者・知的障がい者も参加。それを見ながら着替えをする私。

いよいよ私が出場する八周（8キロ）コース。スタートラインに整列するが、今回は緊張感がない。いつもなら冬場のフルマラソンの前哨戦と思って参加するが、今年は夏の初めに父が亡くなりあわただしかったため、冬場の大会の申し込みをしていない。ただ今日の大会を楽しむだけ。軽やかにスタート。まずは集団がばらけるまでは流れに身を任し、ほどけたらマイペースで走る。適当に起伏があるコースでクロスカントリーを楽しんでいる気分。

あれ、長池駅で出会ったストレッチチャーの方、ストレッチチャーに「こまめな水分補給を」と記したプラカードを付け、給水所の手前を移動されている。なるほど、この大会は皆さんそれぞれ役割なり楽しみ方があるのだ。

私は周回コースをあまり好まないが、この大会は別。ポランテアの方、付き添いで来られている方が誰かれなく応援してください。本部の前を通過するときはマイクでゼッケンナンバーを告げてくださる。「七一四番広島からの参

加です。頑張ってください」という調子で。

「あっ、しまった」暑いので、給水所で水分補給をしていたら、腕の輪ゴムを外すのを忘れたぞ。この大会は腕に七個の輪ゴムをはめておき、一周ごとに輪ゴムを回収箱に投げ入れ、すべてなくなったらもう一周してゴールするという約束。給水所と回収箱が近かったからと言いつつ、次の周で二個捨てよう。

次の周、給水所が見えたので輪ゴム二個を外す。よし回収箱だ、投げ入れる。「えっ！」回収箱ではあるが、こちらは水を飲んだ後の紙コップ回収箱。ポランテアの皆さん、間違えてごめんなさい。ラスト一周になったので、帽子を脱ぎ捨て、ギアを上げる。これはシドニー五輪の際、高橋尚子さんが勝負所でサングラスを捨ててスパットしたのにあやかっている。マイペースを心がけるとはいえ、やはり混戦していると、ラストスパットをして一人でも抜き、倒れこむようにゴールしたいというのはランナーの本性か。

気持ち良くゴール。タイムは大時計を見ると53分57秒。練習量、気温を加味するとこんなもんだろうと思える。楽しみにしていた陶器の完走メダルをいただく。これは「志津川福祉の園」の手作り作品だ。

服を着替えると体験コーナーへ行き、「車いす体験」にチャレンジ。まず車いすの操作の説明をされ、いよいよ体験。スロープあり、クランクありだが、ここは当たり前のように通過。「うまいですね」と係の人。ありがとうございます。自慢のつもりではないが、宝ヶ池で大会を開催されていたとき、「車いすの部」に出場したことがあるのですよ。あのコースは舗装されておらず、砂利道のようなところがあった苦勞しました。

さて、コースの最後あたりに板に角材を打ち込み段差を作った障害物あり。「センチ、センチ、センチ。」「やセンチは簡単にクリアするが、センチは難しい。軽く振り付け、突き進むような感じで挑戦しないと乗り越えることができない。

「よっしゃ！」センチクリア。「センチはなかなか自力で乗り越える人は少ないですよ」と係員。コースを走り終えると「車いすチャレンジ証」をいただく。ほかに「アイマスク北体験コーナー」や「展示コーナー」もあり。そう、この大会の完走証は点字で記した貴重品。

交流の広場ではブラスバンド演奏が始まった。その後はみんなで歌おう手話合唱 和太鼓演奏と楽しい企画がある。残念ではあるがそろそろこの会場を後にし、長池駅を目指そう。帰りは宇治駅で途中下車し、孫Yちゃんに会う予定。できれば余裕をもって長時間Yちゃんに会いたい。